



池田名誉会長

光の言葉
幸福の曲

日本でも世界でも、今、青年の成長が目覚ましい。5月、各地の「創価青年大会」がスタート。きょうも青春勝利の歌声が広がる。

「青年」とは「希望」の異名。創価の前進は、青年の熱と力で切り開かれてきた。その先頭には、常に、池田名誉会長がいた。

1994年5月、名誉会長はフィレンツェのイタリア文化会館を訪れた。若い力が、ぐんぐんと育っていた。最高会議で、名誉会長はスピーチした。“希望という「心の財」こそ最高の財産、——と。

5月の太陽へ、真っすぐに伸びる糸杉の林立は、希望に生きる青年群像を映したかのようだ。名誉会長が、シャッターを押した。

青年！それは無限の希望



皆、最高に価値ある勝利の人生を―世界50力国・地域から集った青年リーダーを励ます（当時の創価文化会館で）

おお 青年！

君たちには

無限の希望がある。

輝く歴史を創りゆく

誇り高き正道が

無窮に続いている。



君たちの輝く瞳

躍動する

凛々しき 生命の姿

無限に走りゆく

生命力のすべてが

崇高なる

希望の魂である



青年を子ども扱いし、

「近頃の若者は」などと

見下す大人はすごい。

私は断固、

青年を信じる。

青年よ、

ちっぽけな

世の波騒を見おろしながら、

大胆に生きよう。

何ものも恐れず、

壮快に動こう。

堂々と真実を叫ぼう。

君が燃えなければ、

時代を覆う生命の闇は

燃やし尽くせない。

君が走らなければ、

正義の炎は、

人々のいのちに届かない。



「大いなる理想」に生きる――

そこに

青年の証がある。

そして

偉大なる人生とは

「青年の心」とともに

一生を

生き抜くところにある。